



「海のエコラベル」の一例



この取り組みはSDGsの目標14



つながっています

コープで
広がる、
つながる



みらいひろばや各地のイベントなどで、学び・試食・交流しました

「みんなでおためし!」海のエシカル」の取り組みが 第2回ジャパン・サステナブルシーフード・ アワードファイナリストに選出!

「みんなでおためし!」海のエシカル」とは

「みんなでおためし!」海のエシカル」は、組合員が「海のエコラベル」のついた商品などを試食しながら、水産資源の現状や、海の豊かさを守るために私たちにできることを学び、交流する取り組みです。2019年7月から12月にかけて、「みらいひろば」をはじめ地域のイベントなど約300会場で開催し、約3800人が参加しました。

この活動が評価され、第2回ジャパン・サステナブルシーフード・アワードのリーダーシップ部門で、ファイナリストに選ばれました。このアワードは、国内で広がるサステナブルシーフード・ムーブメントをより一層活性化さ

※組合員・地域の方が参加する、コープ商品やくらし・地域の情報交換、交流の場。各地域で月一回開催(現在はコロナ禍のため開催できない会場があります)

せるために、その年に功績を残したプロジェクトを表彰するものです。ファイナリストに選ばれた取り組みは、11月に開催された「東京サステナブルシーフード・シンポジウム2020」で紹介されました。

試食・学び・交流で商品の魅力を発見・共有

コープみらいでは、水産資源の持続性や環境に配慮した「海のエコラベル」マークのついた商品や産直商品の取り扱いを進めています。組合員がこうした「サステナブルシーフード」を購入することが、海の豊かさを守ることにつながります。

「みんなでおためし!」海のエシカル」では、水産資源の現状や海のエコラベルなどを学びながらこれらの商品を実際に調理・試食し、おいしさや新しい食べ方を楽しく発見、交流しました。

さまざまな場で、工夫して開催

「みんなでおためし!」海のエシカル」は、各地域のブロック委員(地域の組合員活動のコーディネーター)が、みらいひろばやイベントごとに創意工夫して進めました。親子や子どもを対象にした、学童保育で開催した事例もありました。こうした多彩な取り組みを通して、海の豊かさを守ることや、持続可能な水産資源について考えるきっかけを地域に広げることができました。

参加者からは「学んだ後に調理・試食したので、商品のことがよくわかった」「買ったことのない商品を試食したらおいしかった。これがわかった。これからはマークの付いた商品を買いたい」などの感想が寄せられました。



▲リーダーシップ部門
ファイナリスト
トロフィーを
いただきました



受賞について、詳しくはこちら▶